

こどもの居場所づくりについて(案)

令和3年12月大正区役所所
保健福祉課(こども・教育)

1. 大正区の現状・課題

- ◆こどもサポートネット事業(スクリーニング会議Ⅱ)において、課題(貧困・ひとり親・学力・不登校など)があるとされた子どもたちへの支援⇒「学習・登校サポート事業」をはじめとする出口支援につながっていないケースがある。
- ◆上記ケースにおいては、①子ども自身やる気がない、②親の子に対する関心が薄い、③市や区が実施している支援には少し抵抗感があるといった要因が挙げられる。
- ◆大正区は、全国・大阪市と比較しても、不登校の小学生・中学生の割合が高い状況にあり、特に中学生の不登校が多い。

2. 地域で実施している居場所の状況

<p>◆すみれキッチン(三軒家西)</p> <p>【運営団体】三軒家西社会福祉協議会</p> <p>【内 容】学期に1回、学校で朝ごはんを提供</p> <p>【対 象】三軒家西地域の小学生</p>	<p>◆宿題カフェ(泉尾東)</p> <p>【運営団体】泉尾東地域まちづくり実行委員会</p> <p>【内 容】月1回、泉尾東福祉会館で実施(お昼にカレーを食べ、宿題に取り組む。)</p> <p>【対 象】泉尾東地域の小学生</p>	<p>いずれも主に地域の小学生が対象 中学生の居場所づくりが課題</p> <p>・学習・登校サポート事業…学習支援や登校に向けたサポートを行う ・適応指導教室…学校生活への復帰や自立をめざした支援を行う</p>
<p>◆つつじ食堂(小林)</p> <p>【運営団体】つつじ食堂実行委員会</p> <p>【内 容】月1回、学校で菓子パンとジュースを配布</p> <p>【対 象】小林地域の小学生</p>	<p>◆朝食サラン(南恩加島)</p> <p>【運営団体】南恩校友会(PTA OB 会)</p> <p>【内 容】1~2か月に1回、学校で菓子パンとジュースを配布</p> <p>【対 象】南恩加島地域の小学生</p>	

3. 大正区総合教育会議のめざす居場所のかたち

- ◆Who 地域のボランティア(子どもや親の課題に理解がある方、大学生など)
- ◆When いつからでも可
- ◆Where 子どもたちが気軽に立ち寄りたと思える家庭・学校以外の居心地の良い場所
- ◆What 主に中学生が、思い思いに過ごせる空間とし、悩みごとなどの相談や学習支援も提供
- ◆Why ① 大正区は、特に中学生の不登校が多いが、地域に中学生を対象とした居場所が少ない
② 「学習・登校サポート事業」が必ずしも解決策にならない複雑な課題のある子どもへの支援が必要
- ◆How 各種補助金を活用し、地域主体の居場所として運営・活動できることが望ましい
(区は、こどもサポートネット事業で抽出された子どもを居場所につなぐ)